

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2009-522547(P2009-522547A)

【公表日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2008-548579(P2008-548579)

【国際特許分類】

G 01 N 33/543 (2006.01)

G 01 N 33/53 (2006.01)

G 01 N 37/00 (2006.01)

G 01 N 33/547 (2006.01)

G 01 N 33/545 (2006.01)

G 01 N 33/553 (2006.01)

G 01 N 33/551 (2006.01)

【F I】

G 01 N 33/543 5 2 5 G

G 01 N 33/53 M

G 01 N 33/53 D

G 01 N 37/00 1 0 2

G 01 N 33/547

G 01 N 33/545 Z

G 01 N 33/553

G 01 N 33/551

G 01 N 33/543 5 2 5 U

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年11月25日(2011.11.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

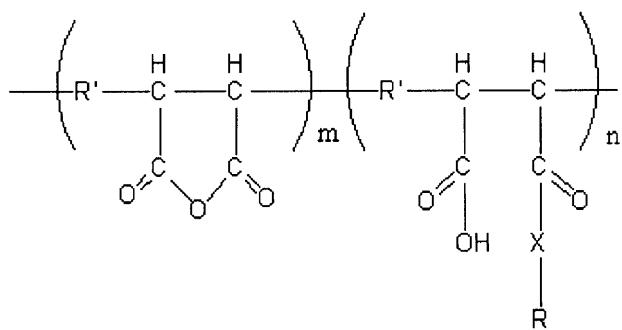
アッセイを実行するための支持体であつて、

前記支持体は、予めブロックされた結合ポリマを有する基体を含み、

前記予めブロックされた結合ポリマは、前記基体に直接的に又は間接的に付着され、複数の無水マレイン酸反応基(m)及び複数の不活性基(n)を有し、

前記予めブロックされた結合ポリマは、下記化学式(化1)

## 【化1】



(ここで、Xは、2価のNH、O又はSであり、Rは、H、置換若しくは非置換の直鎖若しくは分岐鎖アルキル基、オリゴ(エチレン酸化物)、オリゴ(エチレングリコール)又は、ジアルキルアミンであり、R'は、無水マレイン酸と共に重合化された第1の不飽和モノマーの残留物であり、前記複数の不活性基(n)と前記複数の無水マレイン酸反応基(m)との比(m:n)は0.5から10であり、前記予めブロックされた結合ポリマは光反応基を含まず、前記予めブロックされた結合ポリマの前記不活性基は前記無水マレイン酸反応基のうちの一部が変化したものである)で表されることを特徴とする支持体。

## 【請求項2】

前記結合ポリマが連結層によって間接的に前記基体に結合された請求項1の支持体。

## 【請求項3】

前記連結層が直鎖若しくは分枝鎖アミノシラン、アミノアルコキシシラン、アミノアルキルシラン、アミノアリールシラン、アミノアリールオキシシランまたはそれらの誘導体または塩からなる化合物から誘導される請求項2の支持体。

## 【請求項4】

前記結合ポリマは、ポリ(ビニル酢酸塩-無水マレイン酸)、ポリ(スチレン-co-無水マレイン酸)、ポリ(イソブチレン-alt-無水マレイン酸)、ポリ(無水マレイン酸-alt-1-オクタデセン)、ポリ(無水マレイン酸-alt-1-テトラデセン)、ポリ(無水マレイン酸-alt-メチルビニルエーテル)、ポリ(トリエチレングリコールメチルビニルエーテル-co-無水マレイン酸)、または、それらの任意の組み合わせからなる請求項1の支持体。

## 【請求項5】

前記結合ポリマは、ポリ(エチレン-alt-無水マレイン酸)からなる請求項1の支持体。

## 【請求項6】

前記不活性基に対する前記反応基の比は0.67から3.0である請求項1の支持体。

## 【請求項7】

検体からなるサンプルのアッセイを実行するための方法であって、

a. 請求項1に記載の支持体を前記検体含むサンプルに接触せしめる工程と、

b. 当該結合された検体を検出する工程とを含む方法。

## 【請求項8】

アッセイを実行する請求項1に記載の支持体を作る方法であって、

基体に直接または間接的に結合させられる結合ポリマを結合させる工程と、

前記結合ポリマをプレ遮断薬に接触せしめる工程と、を含み、

前記結合ポリマが生体分子に結合できる複数の反応基および複数の不活性基を有し、前記不活性基に対する前記反応基の比は0.5から10.0であり、前記結合ポリマは光反応基を含まないことを特徴とする方法。

## 【請求項9】

前記プレ遮断薬が水、アンモニア、2-(2-アミノエトキシ)エチルアルコール、N,N-ジメチルエチレンジアミン、エタノールアミン、エチレンジアミン、ヒドロキシルアミン、メトキシエチルアミン、エチルアミン、イソプロピルアミン、ブチルアミン、プロピルアミ

ン、ヘキシリアミン、2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール、2-(2-アミノエチルアミノ)エチルアルコール、2-(2-アミノエトキシ)エタノール、ジメチルエタノールアミン、ジブチルエタノールアミン、1-アミノ-2-プロパノール、ポリエチレングリコール、ポリブロピレングリコール、4,7,10-トリオキサ-1,13トリデカンジアミン、ポリエチレングリコール若しくはアミン終端ポリエチレングリコール、トリツマ(Trizma)塩酸塩、またはこれらの任意の組み合わせからなる請求項8の方法。

【請求項10】

アッセイを実行するための請求項1に記載の支持体を作る方法であって、

- a. 基体に直接または間接的に結合させられる結合ポリマを結合させる工程と、
- b. 反応基の一部を不活性基に変え、前記不活性基に対する前記反応基の比が0.5から10.0までとなるようにする工程とを含み、

前記結合ポリマは生体分子に結合可能な複数の反応基を有し、前記結合ポリマは光反応基を含まないことを特徴とする方法。

【請求項11】

前記結合ポリマにおいて、XはNHであり、Rは-CH<sub>3</sub>-CH<sub>2</sub>-OCH<sub>3</sub>-であることを特徴とする請求項1に記載の支持体。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】削除

【訂正の内容】

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0045

【訂正方法】削除

【訂正の内容】